お子様へのお薬の使い方（飲み薬編）

※使用方法の一例を紹介しています。医師の指示がある場合はそちらを優先してください。

お薬を服用するタイミング

- 小さな子供は満腹だと服用してくれないことがあるため満腹ではないタイミングで服用します。
- 1 日 3 回のお薬は 8 時間毎に服用、難しい場合は 4 時間以上の間隔をあけて服用します。
- 1 日 2 回のお薬は 12 時間毎に服用、難しい場合は最低でも 6 時間以上、できれば 8 時間以上の間隔をあけて服用します。

お薬を水や飲食物に混ぜる際の注意点

- お薬と飲食物の相性については「お薬の飲み合わせ表」をご参照ください。
- 味が変わってしまい普段食べていたものが苦手になってしまうことがあるため、ミルクやご飯等の主食となるものには混ぜないでください。
- 飲み切れるよう、混ぜる飲食物は少量にしてください。
- 服用する直前に 1 回分だけ混ぜてください。時間が経つとお薬の成分が変化してしまったり、お薬のコーティングが溶けて飲みにくい味になってしまうため作り置きはしないでください。
- 熱いお湯や飲み物でお薬を溶かすとお薬の成分が変化してしまう恐れがあるため、ぬるくなるまで冷ましてから溶かしてください。

飲み残したお薬について

お子様の病気は症状がいろいろ変わりますので、以前にもらって残ったお薬を親の判断で飲ませるのは好ましくありません。兄弟のお薬を飲ませたりすることも避けてください。

年代別（乳児期・幼児期・5 歳以上）のお薬の飲ませ方

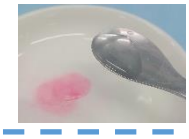
※ 年齢はおおまかな目安です。当てはまる年齢の方法で飲めなくとも問題ありません。それぞれに合った方法で服用してみてください。

◇乳児期（0 歳～1 歳）

- シロップ剤はそのまま、粉薬は飲み切れる程度の液体（水・シロップ等）に溶かして服用します。水道水の飲めない月齢の場合は沸騰させてから冷ました水で服用します。
- 横抱きにしてスポイトで少しずつ服用させるとお薬を吐き出しにくいです。哺乳瓶の乳首を使用して服用させることもできます。※当薬局ではお薬にスポイトを添付しておりません。ご希望の方はお声がけください。
- 粉薬の場合、お薬団子を作り服用させる方法もあります。内頬や上あごにお薬団子を塗り、水を飲ませます。

お薬団子の作り方

① 1 回分の粉薬をお皿に出す
② スポイトか小さなスプーンで水を 1 滴加えて混ぜる
③ ペースト状になるまで水を 1 滴ずつ足して混ぜていく



◇幼児期（コップ飲みができる～4 歳）

- シロップや粉薬はそのまま飲むことが難しい場合、液体（水・シロップ・ジュース等）に溶かすか、食べ物に混ぜて服用します。
- 粉薬を食べ物と混ぜる時は均一に混ぜるより、薬を食べ物で包むようにするとにおいや味を感じにくくなります
- お薬団子を作り、ゼリーやプリン等の食べ物に包んで食べる方法もあります。お薬団子の作り方は乳児期の服用を参照してください。

◇5 歳以上

可能であれば粉薬をそのまま服用することや、錠剤・カプセル剤の服用を挑戦してみましょう。

粉のままでの粉薬の飲み方

①水を少し口の中に含みます。
②お口をあけてもらい、粉薬を下の前歯の裏に入れます。
③薬を飲みこみ、再度水を飲んで薬を流し込みます。

錠剤・カプセル剤の飲み方

①のどの通りを良くするため先に水を飲みます。
②普段食べ物を食べるときと同じような姿勢でお薬を口に入れ、多めの水で飲みこみます。

- 水だけで飲み込めない場合はゼリーやプリンと一緒に飲むと飲み込みやすくなります。
- 錠剤が大きい場合、割線がついているものは割って服用することが出来ます。割線が付いていないものに関しましてはご相談ください。
- 薬によっては錠剤・カプセル剤と同じ、もしくは似た成分の粉薬やシロップ薬がある場合があります。錠剤・カプセル剤の服用が出来なかった場合はご相談ください。

JA 北海道厚生連帯広厚生病院　薬剤部
2024 年　12 月作成